

豊川市民病院 女性医師働き方改革のアンケート

令和元年 7月実施

8月1日集計

女性医師働き方改革ワーキンググループ

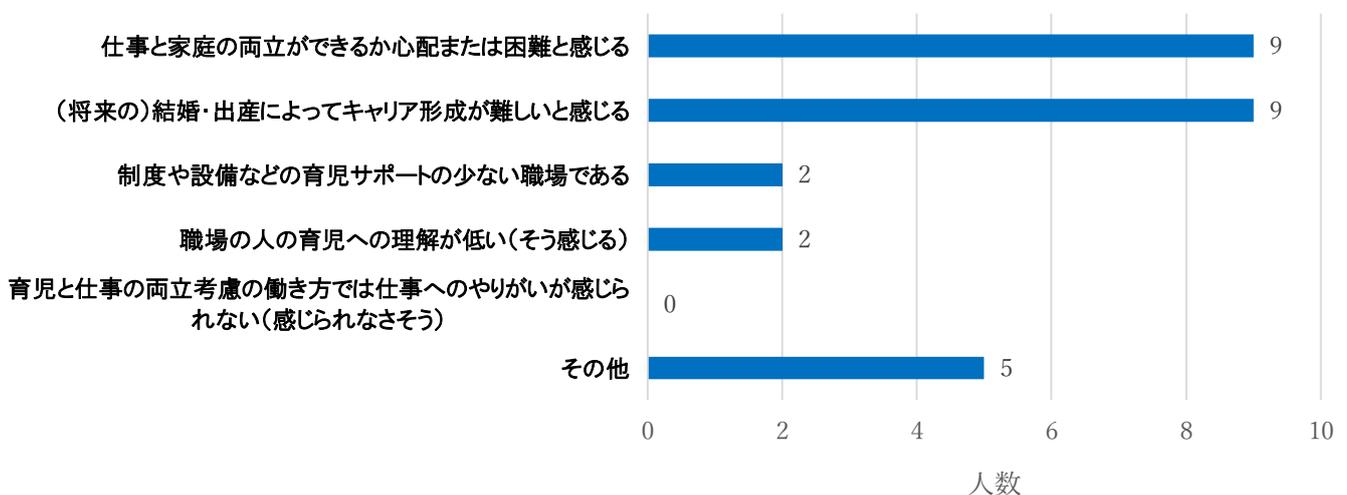
女性医師 19名配布・郵送 回収 14名(回収率 73.7%) 有効回答率100%

医師経験年数(平均 4.3年(±15~2年))

1. 結婚・出産とキャリアに関して心配や悩みはありますか？ (n=14)

- 全くない方は以後の回答はありません。→(全くない n=2)
- 心配や悩みがある方は下記の欄に☑してください。(複数回答可) (n=12)

結婚・出産・育児等とキャリアに関して 心配事と悩み



その他の内容(下記の空欄に具体的に記入してください)

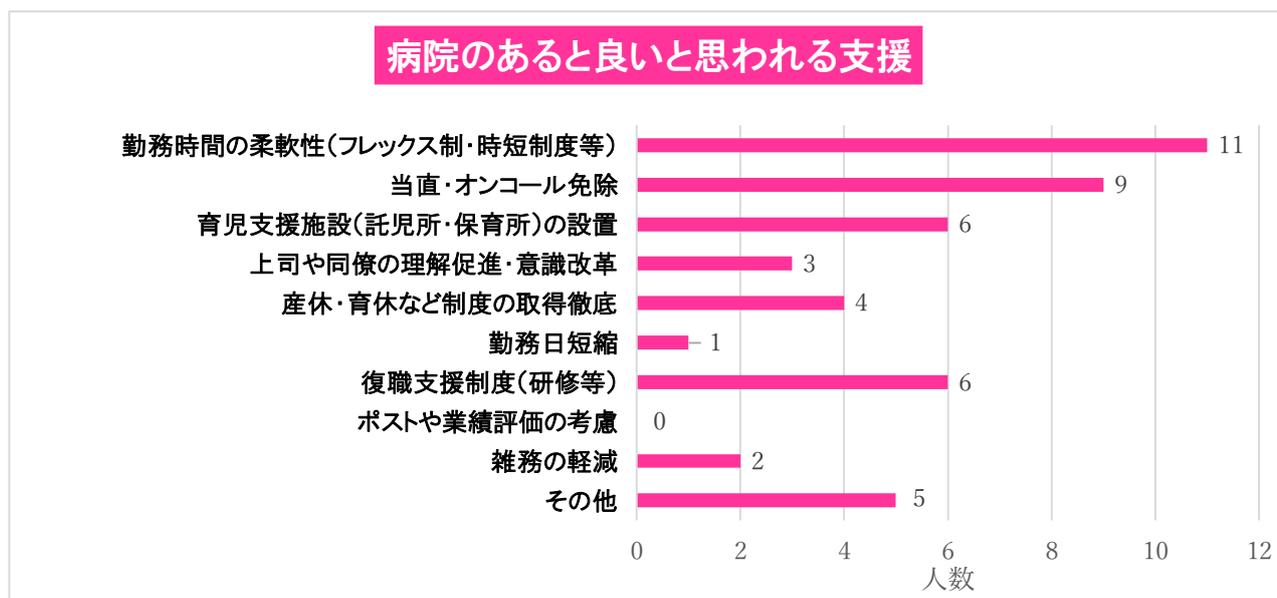
- ・ 病児保育のサポート体制に関する不安。
- ・ 病児保育 核家族で共働きのため病児も預かっていただけると非常に助かります。
- ・ 子の発熱など突然休まないといけない場合、周りに迷惑をかけてしまうこと。また、それに対する理解が得られるか心配。
- ・ 出産は女性しかできないが、育児は男性にもできるはずなのに、仕事やキャリアへの影響はすべて女性に降りかかっているように感じる。
- ・ 男性の育児休暇や子供の体調不良時の有休など意識を変える必要性を感じる。
- ・ 夫の転勤先がどこになるかが自分のキャリアや子育てに大きく影響してしまうことが不安。
- ・ ブランクがあると復帰してから以前と同等の働きができるか不安。
- ・ システムの変更などに対応できるか。
- ・ 新規薬剤などの情報不足に対応できるか。

【質問】 急に休めない場合は職場に病児をつれて行ってもいいでしょうか？

【回答】 現段階では、病児保育についてほいっぽの体制が整っていません。また、職場は病児を連れてくることは想定していませんので安全性や感染症など考慮すると現状は難しいと思われます。今後マンパワーな

どの体制が整えば、可能になると思われます。

2. 病院の女性支援としてあると良いと思われるものには何がありますか？(複数回答可)



その他の内容(下記の空欄に具体的に記入してください)

- ・マンパワーの確保(難しいとは思いますが)
- ・病児保育の施設、ベビーシッター利用等への金銭的支援。
- ・病児保育と就学までの保育対象年齢の引き上げ。難しければ、夏期休暇・冬期休暇中だけでも3歳以上未就学児を預かっていただけるといいです。
- ・病院の近くに住まなくても仕事が続けられたらとてもありがたいです。
- ・仕事を立て込んでいるときや、自分の仕事が終わらず引き継がなければならない時などは、自分から「帰ります」とは言いづらいので、上司、同僚から声をかけてもらえるような雰囲気があるとありがたいです。
- ・時間外に行われるカンファランスに出席できず、症例の相談やコミュニケーションをとることが難しいため、それ以外の時間にも声を掛けやすい雰囲気があると助かります。
- ・不妊治療について
性周期のタイミングに応じて通院・検査・治療が必要です。急に休まなければならないことがあるので、突然でも休暇を取得しやすい工夫も必要かと思います。休暇そのものは年休等でいいかとは思いますが…。女性だけでなく男性も急なタイミングで休みが必要なことがあります。男性についても同様です。

3. 今まで働いてきた病院で、環境や支援があつて良かったものについて知っている内容を記入してください

- ・ベビーシッター利用の補助金
- ・院内託児所が18時までだったので、院内の先生夫婦がどちらかがお迎えに行けそうか相談してて、早く閉まってしまうと大変そうでした。
- ・病院(勤務先)に託児所があるかどうかは、異動する際にも重視する点の一つです。

❖アンケート提出後でもよいので、良い支援等がありましたら下記のメンバーへ、その都度お声かけください

呼吸器内科 太田 PHS:7018 病理診断科 林啓加 PHS:7123

庶務課 榊原 PHS:7716 キャリア支援センター 小林 PHS:7292

ご協力ありがとうございました